

終わりの時の欺き

2011年9月18日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

最初の罪は、嘘と策略によってもたらされました(創世記3章4節、13節)。最初の嘘つきはサタンでした、その後全ての嘘は彼から伝わったものです(ヨハネ8章44節)。終わりの時に近づいている今、それらの嘘をつく者や騙す者たちが最大限に活発化します。イエシュアがオリーブ山で終わりの時について説教したときも、「欺き」について警告しています。

マタイ 24:4 – 人に惑わされないように気をつけていなさい。

マタイ 24:5 – わたしの名を名のる者が大ぜい現れ、『わたしこそキリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。

マタイ 24:11 – また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を欺きます。

マタイ 24:24 – にせキリスト、にせ預言者たちが現れて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。

この終わりの時の「欺き」の最大限の活発化は、いくつかの領域に及びます。

世俗: 西洋思想的、自由主義的、人道主義的、世俗的な夢は、神の介入なしに自分自身の力によって、平等、自由な権利、性の自由、モラルの相対説、ニューエイジ・スピリチャリティ(霊性)を織り込んだユートピアを目指しているのです。この考え方はジョン・レノンの曲、「イマジジン」に表現されています。この思想はまた、マイケル・ジャクソンの曲、「We are the World」にも表され、統一されたワンワールド運動(注)にまで育っていくものです。

注: ワンワールド運動: すべての宗教は、道は違えども頂点(救い)を目指すルートが違うだけで、どれも同じように救いに至るというもので、すべての文明、文化は最終的に一つにまとまるという思想。一見すべての宗教は等しく尊重され、すべての文化が尊重されるユートピア、理想郷的な運動。しかし、完全なる人間中心主義でそこには神の関与を認めない。

イスラム: イスラムの世界はいくつかの分派に分かれていますが、それらすべては世界を支配し、イスラム教で言うメシアの到来、イスラエルの崩壊を待望しているのです。イスラム教徒のイスラエルに対する憎悪感(嫌悪感)と、連合した国々の連邦との組み合わせは、啓示されているイスラエルに対する攻撃へと発展するでしょう(エゼキエル38~39章; ゼカリヤ14章)。

ユダヤ・キリスト教: エルサレム症候群と呼ばれる公に認められた精神病があります。それは、宗教的な背景を持つユダヤ人、あるいはキリスト教徒に現われます。聖都を訪れる多くの人が誇大妄想に取り憑かれ、自分がさも聖書に登場する人物の一人のように振る舞うというものです。

エルサレム症候群の微妙な影響は、この地の選ばれた真の信者にもおよんでいます。霊的なプライド、競争、ねたみ、尊大さ、膨らんだ「ミニストリーエゴ」(注:教会の奉仕における「わたしの能力でやっている」という思い)などにより、本当の神の御国の働きが邪魔され、良い結果が得られなくなります。

これら3分野(世俗、イスラム教、ユダヤ・キリスト教)における「欺き」は、すべてある種の間違ったメシア信仰を内に含んでいます。恵みと真理、謙虚さ、欺きからの開放、主への畏れを求めて祈り、誘惑に落ち入らないよう、騙されないようにしましょう(マタイ6章13節)。

イスラエルと国々

今週国連において、イスラエルにとっていくつかの極めて重大なイベントが控えており、パレスチナが国家として宣言しようと意図していることなどが含まれています。マフムード・アッバース氏とベニヤミン・ネタニヤフ氏は金曜日、国連総会でスピーチを行う予定です。

その他、第3回ダーバン会議が開催されます。この会議は過去何年間も反ユダヤ主義や反シオニズムのためのフォーラムとなってきました。このダーバン会議に抗議する運動が、エルサレム司法研究所のカレブ・マイヤーズが主導し、私たちのチームのマティ・ショシャニにより組織されます。この抗議運動にはクリスチャン・シオニストのグループと伝統的ユダヤ教徒グループの協力も含まれています。どうかダーバン会議に反対し、前線に立つ団結しているこれらの団体のためお祈りください。特にメシアニックジューが参加していることを理由に宗教的なユダヤ人がこの運動を弱めてくることがないように。今週だけでも、英国、フランス、ニュージーランドがこの会議が人種差別的であるとしてボイコットすることに投票しました。

トルコのエルドアン首相は引き続きイスラエルを攻撃し痛烈に非難しています。ただ肯定的な効果としては、トルコとギリシャの長い間の敵対関係によって、イスラエルとギリシャの協力関係がより強くなったことが挙げられます。

ヨーロッパ国間でイスラエルについての浮動票となっているポーランドとチェコの国連代表団のためにもお祈りください。

1979年のエジプトとの和平協定では、イスラエルはシナイ砂漠を返還しましたが、その協定は、冷えきり、緊張した状態のままではあるものの、今年まで保ってきました。最近のエジプトの政変で、カイロのイスラエル大使館への攻撃や、シナイ半島を経由したガザ地区からのイスラエルへのテロ攻撃、エジプトからガザへの兵器の流入、といったように治安状況が急激に悪化しています。イスラエ

ルはシナイとガザ国境における、より効果的な監視を模索しています。より強固な国境防衛機能のためお祈りください。

イスラム伝道

私たちはパレスチナ人とその他のアラブ人クリスチャンと協力してイスラム教徒へ伝道できることを求めています。この危険な分野で忠実に働く、ジャック、ザッハ、バサーム、ハルン、ニザル、サミル、アミル、ヴィクトル、ブリジット、モサーブ兄弟たちと、その他多くの方のためにお祈りください。わたしたちは、イスラエルのメシアニックジューとパレスチナのアラブ・クリスチャンのパートナーシップが、主の御手にあるとても強力な道具としてどこであろうとイスラム教徒にイエシュアの命と愛を示すため用いられることと信じます。

イスラエル人伝道

ラヘル姉妹による今週と来週のアウトリーチ(対外伝道活動)のため、お祈りください。たくさんの方がメシアであるイエシュアの福音に触れました。聖書の学びと弟子訓練を受けているヤエルのため、またシャーイ、イスラエル、モシェ、ヨッシ、ダニエルその他みんなのためにお祈りください。

ヤッド・ハシュモナ

私たちがパートナーとしている、世界にただ一つのメシアニック・キブツ、ヤッド・ハシュモナが新しく行なっている宅地開発および工業団地があります。このための財務面と契約において突破口が見いだせますようお祈りください。イスラエルのメシアニックジューに住む場所と生活の糧を得る職が必要です。これら2つのプロジェクトはこの地に主の御体を立て上げる良い機会を与えることとなります。

秋の大祭の期間

今私たちはここエルサレムで、ラツパの祭り(ユダヤ教の新年)、ヨム・キプール(贖罪の日)、仮庵の祭りといった一連の祝日の準備をしています。私たちのCongregationであるアハバット・イエシュアは、他のCongregationと共同で、主に対する預言的な祭りを祝っています。「使徒の働き」には、初期の信仰共同体では、祈りに専念し、一致と、大胆な伝道、交わり、使徒の教え、聖霊の力と賜物に満ち、聖書的な祭りを祝っていました。(彼らは、異言とヘブライ語を話していた。)といった言葉が見えます。現代のリバイバルと回復のため、私たちもこの使徒たちの共同体を見倣って行きたいと思います。